

2010年度

科目名	ボランティア論		
担当教員	岡島 克樹		
配当	教福1・人社1	コード	45090
開期	前期	講時	木曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	「ボランティア」とは何か？		
目的と概要	日本では、日本の社会システムの変化という長期的(構造的)背景とともに、阪神・淡路大震災などの短期的な要因をきっかけとして、ボランティア活動がより活発化し、一定の注目を受けるようになった。本講では、(1)ボランティアを戦後日本の歴史の中に位置づけ、その背景思想・主要分野・担い手等における歴史の変遷を見るときともに、(2)実際にボランティアが活発に行われている分野を幾つか取り上げて、ボランティアとは何かを考える。		
成績評価法	(1)期末試験(90%)、(2)授業への参加(たとえば外部講師による授業への参加)(10%)を基に判断する。		
テキスト	とくに定めない。		
参考書	適宜、紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	本講では、予算の許す範囲において、大学の外にある人材を外部講師として学内に招き、ご自身が持つておられるボランティア体験について語っていただく。外部講師が話をされる回については必ず参加するようにしてください。 なお、外部講師が来校される日程は当該外部講師のスケジュールに左右されるため、必ずしも上記にあるように11回目以降に集中するとは限らないので、注意すること。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに：ボランティアの経験—講座担当者の場合</li> <li>2. ボランティアの基本要素（基本5要素）</li> <li>3. ボランティアの基本要素（発展バージョン）</li> <li>4. ボランティアの歴史（その1）：海外の場合</li> <li>5. ボランティアの歴史（その2）：日本の場合（戦争直後等を中心に）</li> <li>6. ボランティアの歴史（その3）：日本の場合（1970年代から1980年代）</li> <li>7. ボランティアの歴史（その4）：日本の場合（1990年代以降）</li> <li>8. ボランティア増加の背景（その1）：行政の動き</li> <li>9. ボランティア増加の背景（その2）：学校教育の動き</li> <li>10. ボランティア増加の背景（その3）：新自由主義</li> <li>11. 外部講師によるレクチャー（海外青年協力隊OB）</li> <li>12. 外部講師によるレクチャー（福祉系NPO代表）</li> <li>13. 外部講師によるレクチャー（多文化共生系NPO代表）</li> <li>14. ボランティアを始めるに当たっての留意事項・試験の注意点（重要）</li> <li>15. まとめ</li> </ol>			